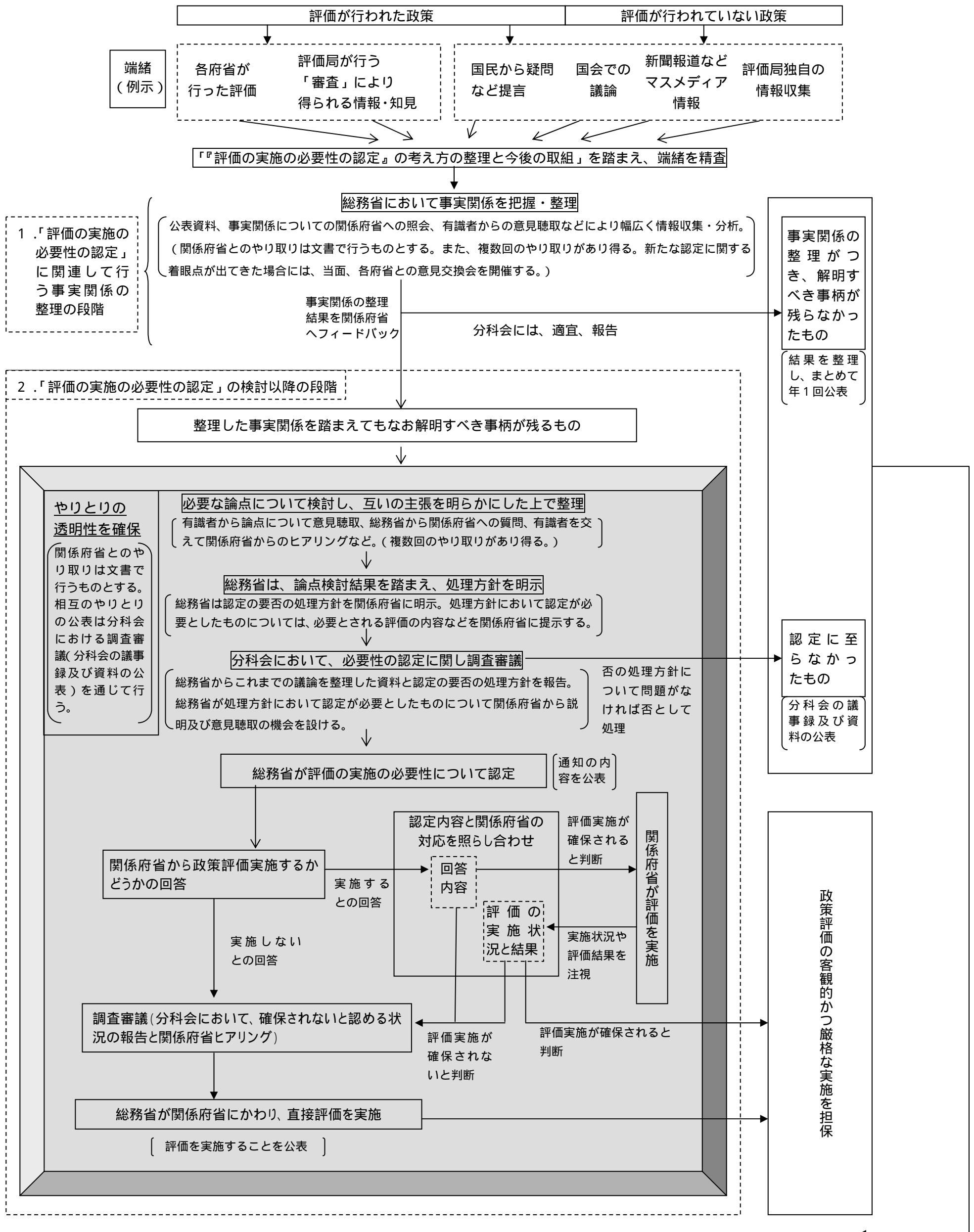


評価に関する情報の整理と「評価の実施の必要性の認定」関連活動の流れ図（イメージ）



取り上げた事例については、政策評価の質の向上などのために、様々な活用があり得る。(以下のパターンは例示)

- 【パターン1】 陥りやすい評価上の問題点を事例集としてまとめ、各府省に情報提供
- 【パターン2】 関連データの公開が確保されている場合には、評価の対案を提示するための調査研究を行い、結果を各府省にフィードバック（事案に応じて関係府省に参加を呼びかけ）
- 【パターン3】 評価手法を一般化することで、問題点が解決できる可能性のあるものについては評価手法を研究開発
- 【パターン4】 改善等の対応が望まれるものについて各府省の評価実施状況をフォロー
 - ・改善を要する事項が改善されているか
 - ・適時適切に必要な評価が実施されているか など